

# 関西

## 関西民放クラブ

### 秋の懇親会を開催

宮島 和正(TVA)

10月16日、大阪・中央電気倶楽部において、関西民放クラブの秋の懇親会が開かれました。この日、会場には76名の会員が集い、久しぶりの再会を喜び合う笑顔があふれました。司会は西野理事。この半年間に「逝去された7名の会員に黙祷を捧げ、静かな雰囲気の中で会が始まりました。



渡辺会長

続いて渡辺会長が挨拶。来賓紹介の後、来賓を代表して毎日放送の祖父江常務から、放送業界を取り巻く最近の話題にも触れながら、温かいご挨拶をいただきました。

次いで、恒例の「コールまかーな」による合唱が披露されました。『遙かなるサントラルチア』『フニクラ』

リ・フニクラ』『坂本九の遺作である『心の瞳』と続くステージでは、青木氏による曲目解説もあり、会場の多くが静かに耳を傾け、曲に思いを馳せました。日頃、何気なく聴いていた歌の背景を知り、あらためて音楽の力を感じるひとときとなりました。



コールまかーな

乾杯の音頭は関西テレビの和田由美取締役。明るくテンポのよいご発声でグラスが一斉に掲げられ、会場は一気に華やいだ雰囲気になりました。



KTV和田取締役

話題は旧交を温める思い出話から近況報告までさまざまで、笑い声の絶えない時間が流れました。

今年の日本酒コーナーでは、「酒好き・旅好きな同好会」推薦の、関西の銘酒「紀土」「呉春」「白鷹(阪神タイガースラベル)」が用意され、人気銘柄は早々に空になりました。



日本酒コーナー

また、展示コーナーには俳句や写真・陶芸の作品が並び、なかでも、写真の会の故・福田正史さんの作品がひととき注目を集めました。亡くなられるわずか一カ月前に撮影されたもので、奥様の心のこもったメッセージとともに紹介されました。今回の全国写真の会フォトコンテストで日本民放クラブ会長賞に選ばれています(4ページに掲載)。

会の中盤では新入会員の紹介

があり、続いて傘寿を迎えられた6名の会員に記念品が贈られ、温かい拍手が送られました。節目を迎えられた方々の笑顔に、長年クラブを支えてきた歴史の重みを感じられました。

後半は「白秋バンド+2」が登場。「コールまかーな」の女性メンバー2名を加えた特別編成で『上を向いて歩こう』『高校三年生』『明日があるさ』など、昭和の名曲を軽快に演奏。自然に手拍子が起こり、会場全体がひとつになりました。アンコールの声も上がりました。



白秋バンド+2

最後は全員で『関西民放クラブ歌』を合唱。西島理事の威勢のよい手拍子による「大阪締め」で締めくくりました。